

ふらの

平成24年

第57号

2012.11

市議会だより

■発行：富良野市議会 ■編集：議会広報特別委員会 [富良野市弥生町1-1 TEL 39-2322]



北の峰地区 お年寄りに感謝する会

平成24年
第3回
定例会

9月4日～9月14日
(11日間)

主な内容

- ・議決結果 P 2
- ・一般質問 P 3～6
　7名の議員が市政全般について質問
- ・委員会報告 P 6～8
　総務文教委員会報告、保健福祉委員会報告
　経済建設委員会報告、議会改革特別委員会報告
- ・議会報告会 P 9
- ・平成23年度決算審査特別委員会設置 P 9
- ・議会日誌・編集後記等 P 10

議決結果

平成24年 第3回 富良野市議会定例会議決結果表

議案番号	事件名	議決月日	議決結果
議案第1号	平成24年度富良野市一般会計補正予算(第4号)	9月14日	原案可決
議案第2号	平成24年度富良野市介護保険特別会計補正予算(第1号)	9月14日	原案可決
議案第3号	平成23年度富良野市水道事業会計剰余金の処分について	9月4日	原案可決
議案第4号	平成23年度富良野市ワイン事業会計剰余金の処分について	9月4日	原案可決
議案第5号	富良野市個人情報保護条例の一部改正について	9月14日	原案可決
議案第6号	富良野市長及び副市長の給与等に関する条例の一部改正について	9月14日	原案可決
議案第7号	富良野市立学校設置条例の一部改正について	9月14日	原案可決
議案第8号	富良野市防災会議条例及び富良野市災害対策本部条例の一部改正について	9月14日	原案可決
議案第9号	富良野市表彰条例に基づく表彰について	9月4日	原案同意
議案第10号	富良野市公平委員会委員の選任について	9月4日	選任同意
議案第11号	議員の派遣について	9月14日	原案可決
議案第12号	平成24年度富良野市一般会計補正予算(第5号)	9月14日	原案可決
質問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	9月4日	適任
認定第1号	平成23年度富良野市一般会計歳入歳出決算の認定について	9月4日	継続審査
認定第2号	平成23年度富良野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	9月4日	継続審査
認定第3号	平成23年度富良野市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	9月4日	継続審査
認定第4号	平成23年度富良野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	9月4日	継続審査
認定第5号	平成23年度富良野市公設地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9月4日	継続審査
認定第6号	平成23年度富良野市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9月4日	継続審査
認定第7号	平成23年度富良野市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9月4日	継続審査
認定第8号	平成23年度富良野市水道事業会計決算の認定について	9月4日	継続審査
認定第9号	平成23年度富良野市ワイン事業会計決算の認定について	9月4日	継続審査
報告第1号	平成23年度健全化判断比率について	9月4日	報告済
報告第2号	平成23年度資金不足比率について	9月4日	報告済
報告第3号	株式会社富良野振興公社の経営状況について	9月4日	報告済
報告第4号	株式会社ふらの農産公社の経営状況について	9月4日	報告済
報告第5号	株式会社空知川ゴルフ公社の経営状況について	9月4日	報告済
報告第6号	専決処分報告について (市道における物損事故の損害賠償及び和解について)	9月4日	報告済
その他会議に付した事件	所管事項に関する委員会報告		
	・事務調査報告(総務文教)	9月4日	継続調査
	・事務調査報告(保健福祉)	9月4日	継続調査
	・事務調査報告(経済建設)	9月4日	調査済
	・都市事例調査報告(経済建設)	9月4日	調査済
	議会改革特別委員会報告	9月4日	継続調査
	監査委員報告		
	・例月出納検査結果報告 (平成23年度4月分、5月分、平成24年度4月分～6月分)	9月4日	報告済5
	教育委員会報告	9月4日	報告済1
	認定第1号平成23年度富良野市一般会計歳入歳出決算の認定に係る決算及び決算説明書(一般会計)の訂正について	9月14日	承認
	閉会中の所管事務調査について(経済建設)	9月14日	許可1
	閉会中の都市事例調査について(総務文教・保健福祉)	9月14日	許可2

一般質問

菊地敏紀

(民主クラブ)

下水道未整備地区の住環境整備は

問 未整備地区においては浄化槽による整備が進められ、70基が設置されている。この内合併処理浄化槽設置事業では40基が設置されたが、未設置世帯が2133世帯となっている。

答 合併処理浄化槽設置事業は、未整備地区の住環境整備には有効な施策であるのにも拘らず、本年度で事業終了と聞いているが、農村観光環境都市を目指す富良野市として、担い手、地域振興、移住定住対策を推進する上で事業の継続が重要であり市長の見解は。

答 平成24年度で終了する理由は、設置補助の目標350基を概ね達成した事である。今後の推進については、生活排水処理対策は生活環境の向上と水環境の保全を図る上で重要であり推進する必要がある。設置補助の希望が高まつており、アンケート調査を実施し32世帯から設置

希望の回答があり、これらを参考に25年度から第3次基本計画で整備基数についての事業計画を定め毎年設置予定の状況を把握し、国の補助制度を導入し事業推進を図っていく。

治水対策は



昨年の布礼別川大雨被害

問 市長は昨年の災害後、いち早く国・道に要請活動を行い、河川維持工事が実施されると第1回定例会で報告されているが実施状況と今後の要請活動は。

答 ヌツカクシ・ベベルイ川の掘削工は予算配分がなく、本年度工事実施に向け要望していく。他の維持工事は完了又は10月発注予定であり、今後も国・道に要望活動を行っていく。

問 駅前及び周辺駐車場の効率的な利用を図り、繁忙期の販売機会を失わないようにすることが必要と思うが。

答 現在、市が管理している駅周辺の駐車場は9箇所あり、駐車可能台数381台分を確保している。各駐車場には「利用心得」の看板設置により適正利用をお願いしている。しかし、目

的外の長時間駐車、駐車スペース以外の駐車等、不適切な利用もある。迷惑駐車解消のための啓蒙や、地域の町内会や商店街と連携し適正利用を検討する。また、観光客の駐車場確保のため効率的な利用方法を検討する。

富良野スキー場開設50年記念事業

問 各種事業の成果など、検証結果と経済効果は。

答 スキー場輸送人員は道内平均が前年比9.9.6%の中、富

黒岩岳雄

(ふらの未来の会)

JR富良野駅の周辺環境整備は

良野スキー場は109.7%。また、下期の観光入込みは上川管内前年比の平均値が96.4%に対し富良野は100.7%の結果で、このことから事業成果及び経済効果があつたものと推測している。

問 スキーに関連する冬期観光の今後の方針性は。

答 スキーを核とした冬期観光の振興は、市の活性化において大変重要と認識している。今後誘客を進める上で商工会議所、スキー場、観光協会、旅館組合、料飲店組合、公共交通機関や関係団体と連携し、オール富良野で取り組む。北の峰地域観光振興計画の策定により、地域全体で観光振興を図っていく。



修学旅行生のスキー研修

一般質問

関野常勝
(民主クラブ)

山部地域の活性化は

問 太陽の里周辺整備の課題とふれあいの家の通年営業の考えは。

答 施設の中では老朽化が進み20年以上経過している状況であり、現況を見ながら計画的に整備するなどの対応を検討する。

ふれあいの家の通年営業の考えは、冬期間の誘客は非常に厳しいことが想定されるため、現段階では困難である。

問 ふれあいの家の通年営業での指定管理以外の活用は可能か。

答 指定業者が自主的に運営することは可能である。ただし、なることを理解していただきたい。



山部いきいきセンター

な観光資源と考えている。新たな観光資源の開発には、新たに施設の建設ではなく既存のものを活用すると共に、未利用の市有財産の有効的な活用も視野に入れる。

活用方法においては、既存の農業体験に加え山部@まるごと体験村、観光協会など連携する中で推進を図る必要がある。

問 山部地域の温浴施設の必要性についての見解は。

答 山部いきいきセンターは、公衆浴場対策であり、又、ふれあいの家、宿泊棟についても、施設の目的に応じ利用されないので、今後の利活用についても、目的に沿った形で推進したいと考えている。

大栗民江
(公明党)

公共施設の老朽化対策は

問 市が保有する施設の老朽化の現状や費用確保の取り組みは。

答 全482棟の内竣工後30~40年は135棟28%、40年以上は75棟16%。庁舎(市庁舎・文化会館・スポーツセンター等)

は、庁内に検討委員会を設け手法や財源検討を開始する。

問 自治基本条例の検討を控えていることを考えると市の施設トータルで、行政と市民が情報共有できる白書が必要では。

答 必要に応じた情報提供は個別対応が可能であり、施設白書の作成は現在予定していない。

橋梁等の老朽化対策は

問 防災・減災の視点から緊急時に通行を確保すべき富良野市指定の道路には6つの橋梁があるが、老朽化への取り組みは。

答 50年経過が1橋ある。指定路線の橋梁は次年度以降、補修・改修・架け替えを含め検討していく。

問 山部地域の観光資源を利用した滞在型観光の推進と新たな観光資源の開発と活用の考え方

答 山岳景観と農村景観が重要



火葬場手前の老朽化した道路橋

問 人事院は「民間では自宅の維持管理費の補助を目的とする手当はほとんどない」等として地方にも見直しを進める動向。市の今後の見直しの考えは。

答 当面は継続すべきものと考えている。支給現状は、24年4月1日現在134名、972万

一般質問

萩原弘之

(民主クラブ)

山部太陽の里キャンプ場の管理は

問 太陽の里キャンプ場の利用

者は近年2900名を推移している。利用規則及びごみ分別の周知を図り、施設整備の経費として有料化をすべきではないか。

現在キャンプ場についてはキャンプだけでなく集会やイベントスペースなどの場としても利用がされており、団体においては許可を申請して使用料を頂いている。キャンプ場宿泊者への有料化には、管理者の常設や施設整備など投資が必要であり現在の段階では考えていない。ごみの分別については来年度よりも踏まえて、対策を協議し実施していく。

問 国の6次産業化法にともなつて現在、農産加工品に携わっている団体の支援とこれからの富良野市の6次産業化の支援は



山部太陽の里キャンプ場

取り組みについて市の考えは。

答 本市の取り組みとして、2つの事業者が6次産業化法に基づく総合事業計画の認定を受け実施している。

また、富良野市農業及び農村基本計画の中で農業経営の発展に6次産業化が位置づけられていると考える。持続可能な農業及び農村づくりに向けて掲げた

4つの中の「信頼される産地づくり」の取り組みのことからも、農産加工品やインターネット販売・産地情報の発信など、新分野挑戦への支援をしていく。

また、本年より6次産業化支援事業として、農家レストラン・農産加工実践講習会を実施している。

地活性化事業本部会議を開催し、市として、8月10日付で北海道に事業認可申請書を進呈提出した。今後のスケジュールについては、事業認可が下り次第、全体地盤調査、実施設計権利変換計画の作成のための平成24年度国庫補助金の交付申請を行い、補助金交付決定後事業に着手する予定。

問 中心市街地活性化について、地

日里雅至

(民主クラブ)

中心市街地活性化

問 東4条街区再開発事業の進捗状況について。

答 事業区域内の権利者26権利者から事業認可の同意が得られ、まちづくり会社から市に8月6日付けで事業認可申請書の提出があつた。8月9日市中心市街

地活性化事業本部会議を開催し、市として、8月10日付で北海道に事業認可申請書を進呈提出した。今後のスケジュールについては、事業認可が下り次第、安全、防犯、環境、駐車場、園庭など共通課題については、今後必要性に十分配慮し実施設計に反映させていく。



新しく生まれ変わった東4条街区

域懇談会などで出された市民意見をどのように反映させるのか。

問 総合こども園建設について、地

答 市としては、総合こども園として整備をする方向であつたが、国会で法案が廃案になり、今後国の動向を注視し再編による新たな施設については、認可保育所か認定こども園として進め

整備は地域要望をふまえて



農村地帯の市道調査

望のある3箇所については、現地調査を行い、出来るものについては整備を行つた。今後の整備計画については、振興会・連絡協議会等の地域要望を考慮し行う。また、自転車用道路整備については難しい。

見解の相違

問 総合こども園設置について、6月18日以降の具体的な進捗状況を父母の会に対し説明を行うべきと考えるが、市長の考え方を伺う。

答 広報を通じて市民周知を行つてある。また、31箇所にわたり地域懇談会、意見交換会を実施してきた。課題については、行政報告にあるとおりで集約されている。

問 総合こども園設置については、賛成、反対が二分しているので市民に理解を求める必要があると考えるが。

答 地域懇談会に参加していく市民は、興味の持つた人しか来ない。一部の人の意見を聴いただけでは、判断する訳にはいかない。今議員と私との受け止め方の差があると判断している。

総務文教委員会

■地域新エネルギーについて

本委員会では、私たちの生活に必要なエネルギーを、今後、私たちがどのように選択し、作り、確保していくかをテーマに議論を進めています。

後世にわたり安定的にエネルギーを確保し、持続可能な循環型社会を実現するためには、省エネ、節電の取り組みと同時に、太陽光や太陽熱、風力、水力、雪氷熱などといった、枯渇する心配のない再生可能エネルギーを導入していく必要があると認識している。

また、より身近で安全な電力・熱の利用が実現できるよう、再生可能エネルギーの供給体制を構築し、家庭や事業所に普及させていくことも重要であると考えています。私たちの生活に必要なエネルギーを地域の自然の中から作りだすことにより、エネルギーを大切に使う習慣を身につけて取り組むことにもつながる

と考えています。
さらに、森林資源や農業廃棄物などを利用するバイオマスエネルギーは、地域にある資源が十分活用できるとともに、地場産業の振興と発展に結びつく可能性をも秘めています。

このような地域新エネルギーの利用が市民生活に浸透すると同時に、導入時ののみの一時的な経済効果に終わることなく、継続して地域産業の活性化に繋げていくためには、どのような方策がより本市の現状に適しているか、市内施設の視察に基づき検討課題の整理を行うとともに、他市の事例も参考にいたしました。継続調査を求め中間報告といたします。



麓郷白鳥川の小水力発電

経済建設委員会

■住宅施策について

本委員会は、今後の少子高齢化や地域コミュニティを含めた富良野の将来を見据え、「住宅施策について」担当部局から資料と説明を求め、さらに意見交換、都市事例調査を行ない協議してきました。

市の住宅施策の柱である市営住宅は平成23年度末における管理戸数は777戸ですが、長寿命化計画に基づき、平成32年度645戸としています。

市営住宅における政策空き家の考え方は、基本的に耐用年数を10年経過したもの、補修費用が多額になると判断した場合で、数年間政策空き家として維持管理した後に解体するものとし、将来的に管理戸数は500戸程度管理していく方針です。

過去10年間の募集に対する応募状況は12倍となっている事から、今後は多様な市民ニーズを踏まえ、公営住宅の建設・維持管理の方を見直し、従来の

住宅困窮者のセーフティネットの役割から、少子・高齢化、人口減、財政的視点を念頭に多様なあり方による住宅施策を検討すべき等の意見が出されました。

委員会では、日常生活を営む上での根幹である住環境政策は行政の基本政策であると同時に市民生活の土台でもあることから、「世代を超えて安心して暮らしやすい環境づくり」を目指した住宅施策は子育て・医療・福祉と連携した総合的な政策をさらに深化し、富良野に住んで良かったと実感できる環境づくりを目指した住宅施策に反映すべく次の4点を提言致しました。

① 建設費や維持管理費についてコスト計算を明確にし、市の財政事情と照らし合わせ弾力的な計画の推進。

② 公営住宅の管理戸数が減少していく中で、現在の入居者が安心して住み替えできるよう配慮するとともに、補完的役割として民間賃貸住宅利活用の検討など入居管理の取り組み。

③ 今後の住生活基本計画に子

育て、高齢者、障がい者など、子育ての支援状況について調査

的な見識の取り入れ。

④ 市内全域の空き家実態調査を行い、その対応策を早急に図るべきである。

を進めてきました。

今後は、子育て支援現場の視察見学、都市事例調査の実施により、先進地での子育ての推進状況など、さらに調査を深め、富良野市としての地域性を十分に考慮し、検討いたたく、この度は中間報告いたします。



建て替え予定の市営住宅

保健福祉委員会

経済建設(都市事例調査)

民間空き住宅活用家賃補助事業

岐阜県多治見市では、市営住宅の半数以上は昭和20年から40年代にかけて建設され、老朽化が進み建て替えや管理戸数維持は、厳しい財政状況から困難と判断し、戸数の縮減と建設、建て替えを行わないことを決定し、市営住宅の補完を目的に、民間空き住宅入居者への家賃補助事業を平成19年より開始している。

家賃補助の募集は先着順に15戸、補助額は月額1万5千円。補助期間は5年間で、民間賃貸住宅は耐震基準に適合し、市が認定した12業者で117対象物件が登録されている。これまでの5年間の家賃補助事業の決定は、募集82件に対し73件であり、

交付額は、5年間の債務負担行為を計上し平成23年度交付分で860万円となつてゐる。

不動産会社の話では、対象物件の平均家賃は、4～5万円が多く、世代を問わず入居希望があり、市営住宅の抽選にもれた方の入居希望も多いとのこと。

危険老朽空き家対策事業

富山県滑川市中心市街地は、

旧街道沿いで昔ながらのまち並みを残しているが、郊外への人口流出など、まちの空洞化が進み空き家や空き地が増加し現在300件が確認されている。建物の柱を共有して建てた接合建物、永代地上権（期限のない地上権）という独特的の権利により土地取引の交渉など空き家対策の困難さを実感しました。受けている。

借り上げ型市営住宅事業

三重県名張市では、平成8年の公営住宅法の改正に伴い、民間住宅等からの借り上げ方式が認められたことから、平成21年より借り上げ市営住宅事業を導入している。従来方式では建設



既存借り上げ型市営住宅（三重県名張市）

議会改革特別委員会

■インターネット中継に向けて

議会改革の取り組みの根底は議会と住民との関係に帰着し、相互の信頼関係構築により議会への住民参加をどう実現するかという課題に向かい、「開かれた議会・討論する議会・衆知を集める議会・行動する議会」を基本に議論を行っています。

特に情報公開の推進・政策過程の透明性を図り、市民参加のまちづくりを目指して議会報告会などの開催を行っています。

なお、課題であるインターネットを活用した議会中継は、「富良野市議会中継実施要綱」を定め推進することとしています。

地方自治体では首長と議員が別々に選ばれ、異なる役割を果

に当たり多額の初期投資財が必要で、建築後も財産管理、入居管理も必要など、将来的に厳しい財政状況が懸念されていたことから民間賃貸住宅の利活用と市営住宅事業収支を検討し、導入した経緯がある。耐震基準適合、駅より1・5kmの範囲内、浴室の手すり、電話設備、非常用ランプ設置等高齢者、弱者に配慮した住宅団地基準が細かく設けられている。

議会改革の取り組みの根底は議会と住民との関係に帰着し、相互の信頼関係構築により議会への住民参加をどう実現するかという課題に向かい、「開かれた議会・討論する議会・衆知を集めめる議会」を目指し導入を検討していますが、市民の皆さんに利用され、理解が深まるためには副題として「議会とまちづくりトーク」と定めました。今後は、市内団体、個人グループが、議会と課題について自由に意見や情報交換を行うため、運用開始に当たり、一般会議の導入要綱を定めた上で慎重に協議を重ねて行きます。



議会報告会

■議会報告会を9会場で開催

議会報告会は、試行実施から4年目を迎えます。

今年は15会場で、昨年同様3班6人編成で開催し、議会活動状況、委員会調査内容等を報告し、参加者の皆さんと意見交換を行なっていますが、この活動を積み重ねて議会の機能を高めていきたいと考えています。

8月には9会場で開催し、市民の皆さんから議会に対して貴重な御意見などを頂き、有意義な議会報告会を行うことができました。

主な内容は、路線バスのハイ

朝日会館にて



ランド線廃止に伴う代替え運行等の対策、自然エネルギーの取り組み状況、空き家対策、災害時における一時避難所の課題、上下水道料金、高齢者が住みやすいまちづくり、こども園について、公営住宅賃滞納について、鹿食害対策、東大演習林の利活用、防犯灯補助率アップについて、個人情報と町内会活動の課題、ごみカレンダー等町内会未加入者への対応について、今後の麻町公営住宅のあり方にについてなどが出されました。

議会への意見については、議員の職務と権限について、議員定数と議員報酬、会派・政党制度について、一般質問について、インターネット利用拡大と夜間議会開催、議会広報の記事について簡略化され議論経過が分からぬ。議会報告会については、報告会における課題回答のあり方について、報告会の周知のあり方など、数多くの貴重な意見を頂きました。

出された意見は議員全体で共有し、必要に応じて自由討議、委員会などを通じて議会活動に活かしていきます。

平成23年度決算審査特別委員会を設置

◇平成23年度の一般会計外各会計決算が、監査委員（松浦惺氏、菊地敏紀氏）の審査を受け、認定を受けるため第3回定期会に提案されました。

【一般会計・特別会計】

・一般会計歳入歳出決算

・国民健康保険特別会計

・介護保険特別会計

・老人保健特別会計

・後期高齢者医療特別会計

・公設地方卸売市場事業

・特別会計

・公共下水道事業特別会計

・簡易水道事業特別会計

・【企業会計】

・水道事業会計決算

・ワイン事業会計決算

【各所管審査日程】

11月7日（水）	保健福祉部・看護専門学校・経済部
11月8日（木）	建設水道部・教育委員会
11月9日（金）	総務部・歳入総括

右記日程にて傍聴できます。

◇また、9月14日の定期会閉会後に委員会を開催し、各所管にかかる審査日程及び決算審査に必要な審査資料を決定するとともに、23年度決算の総括説明を受けました。

審査のため、議長と議会選出監査委員を除く議員15名による特別委員会を設置し、閉会中の継続審査としました。

議会日誌

8月

- 1日・総務文教委員会
- 6日・議会報告会（北の峰ミセン）
- 7日・議会報告会（南ミセン）
- ・議会改革特別委員会
- ・保健福祉委員会
- 8日・総務文教委員会
- 9日・経渃建設委員会
- 10日・議会報告会（朝日会館）
- 20日・総務文教委員会
- ・保健福祉委員会
- ・議会報告会（栄町ミセン）
- 21日・議会改革特別委員会
- 23日・経渃建設委員会
- 27日・議会報告会（西地区ミセン）
- 28日・議会報告会（東春ミセン）
- ・第3回定例会告示日
- ・議員協議会
- 29日・議会報告会（麻町児童センター）
- ・保健福祉委員会
- 30日・議会運営委員会
- ・議会広報特別委員会
- ・議会報告会（末広ミセン）
- 31日・議会報告会（山部福祉センター）

9月

- 3日・保健福祉委員会
- 4日・第3回定例会（1日目）
- ・総務文教委員会
- ・経渃建設委員会
- ・議会広報特別委員会
- ・決算審査特別委員会
- 10日・第3回定例会（2日目）
- 11日・第3回定例会（3日目）
- ・議会運営委員会
- 13日・保健福祉委員会
- 14日・第3回定例会（4日目）
- ・議会運営委員会
- ・決算審査特別委員会
- 24日・総務文教委員会
- 25日・議会改革特別委員会
- 27日・経渃建設委員会
- ・保健福祉委員会

10月

- 1日・議会改革特別委員会
- 2日・保健福祉委員会
- 3日・経渃建設委員会
- 4日・総務文教委員会
- 5日・議会広報特別委員会
- 12日・議会広報特別委員会
- ・議会改革特別委員会
- 15日・保健福祉委員会都市事例調査
～18日
- 19日・沿線議長会議員研修会
- ・代表者会議
- 22日・総務文教委員会都市事例調査
～25日
- 23日・広域連合議会告示日
- 26日・議会広報特別委員会
- ・議会改革特別委員会
- 30日・広域連合議会第2回定例会
30日・市民連合、公明党会派視察
～11/2日

●各常任委員会では、議長の許可を受け、閉会中次の事務調査、都市事例調査を行います。

■事務調査

委員会名	調査番号	調査件名
経渃建設委員会	調査第5号	中心市街地の活性化について

傍聴してみませんか

平成24年第4回市議会定例会の開会予定日をお知らせします。

【日 程】

- ・12月4日(火)開会日
- ・12月10日(月)一般質問
- ・12月11日(火)一般質問
- ・12月12日(水)一般質問
- ・12月14日(金)最終日

※開催日は変更する場合がありますので、傍聴の際は、日程をご確認ください。

※多くの方の傍聴をお待ちしています。

お問合せ：議会事務局

☎39-2322

編集後記



▼今年は、春の天候不順で農作業が少し遅れたようでしたが、その後の好天で生育も追い付き、良い出来秋を迎えたことだと思います。

▼一方、記録的な猛暑により、

事が起きました。富良野地域で熱中症により亡くなられた方がお二人いらっしゃいました。心よりご冥福をお祈りいたしました。

▼9月末まで続いた猛暑、そして、10月に入ると朝夕の気温が一桁、体調を崩されてはいませんか？もうすぐ冬の便りが届く

▼あたりまえの四季があり、自然があり、おいしいものが沢山あります。それがあたりまえだと私たちは思っています。しかし、富良野を訪れる人たちに、普段味わえない様な多くの感動を与える事が出来る凄く良い所なのです。もう一度私たちも、あたりまえを見直して感動してみませんか？

議会広報特別委員会
委員 小林裕幸